

2 男女が生き生きと働きともに支える社会づくり		
対象事業	現状・課題	意見
<ul style="list-style-type: none">・事業番号23 関係機関と協力した自営業者等への啓発・事業番号24 家族経営協定の推進／関係機関と協力した農業者への啓発	<ul style="list-style-type: none">・関係機関等へ啓発を行っている。	<ul style="list-style-type: none">・啓発を行うだけでは実態を掴みにくく、成果も上がりにくいのではないか。・女性の育児休業については一般的になってきたが、男性は育児休業取得率が低く、取得しにくい環境があると思われる。男女ともに働きやすい環境の整備のためには、社長や管理職の意識改革が必要である。・農業や自営業などの仕事については、特に労働環境の見直しが必要ではないか。
<ul style="list-style-type: none">・事業番号28 特別保育事業の充実・事業番号29 放課後見クラブ事業の充実	<ul style="list-style-type: none">・子育て支援体制が充実し、子育てしやすい環境になっている。	<ul style="list-style-type: none">・子育てしやすい環境になっていることで、家庭でやるべきことを学校や保育園などに押し付けている家庭が増えているのではないか。